

ひとはく通信

# ハーモニー

132

Mar. 2026

まちに広がる出会いと学び、体験・交流の場



エキマエアキチとその周辺で開催されたフラワータウンフェスタ2025

植物と土壤に覆われた大地が広がる日本列島では、地下の地層や断層のずれを観察できる機会は多くありません。地層や断層が地表に現れた場所を露頭と言い、露頭は道路や建物の工事で地面を掘ったり、削ったりした時にも出現します。露頭に現れた地層や断層を、布を貼り付けて薄くはぎとった標本が「はぎとり標本」です(図1)。はぎとり標本では、露頭を裏側から見た状態で地層や断層を観察できます。露頭は時間の経過とともに無くなりますが、はぎとり標本は半永久的に残すことができます。

平野の地下深くに眠る地層は、簡単に調べることができません。調査・研究の目的で、地下の地層を上下の重なりを乱すことなく、円柱状に掘り上げた試料が「ボーリングコア」です。1995年阪神淡路大震災の直後には、地震被害の原因を探るために阪神間の平野で深さ100m以上のボーリングコアが多く採取されました。神戸市東灘区で深さ1700mまで掘られた「東灘1700mボーリングコア」では、約350万年間に堆積した長さ1545.7mの地層が採取されました(図2)。このボー

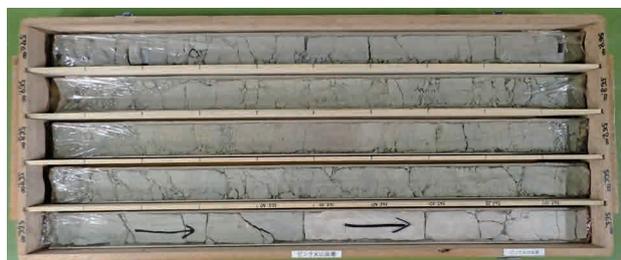


図2 東灘1700mボーリングコアのピンク火山灰層準

リングコアを用いた研究では、地球規模の気候変動や大規模な火山噴火の歴史など、いろいろな地学現象が明らかにされています。



図1 約9千年前の福知泥炭層のはぎとり標本(宍粟市歴史資料館で展示中)

加藤 茂弘(地球科学研究グループ)

トピックス

昔の風景を未来に伝える絵葉書資料

わが国では、1900年に私製葉書の使用が認められて以降、様々な絵柄の絵葉書が生み出されてきました。その1つに、名所の風景写真が印刷された絵葉書があります。写真機が普及していない時代、旅先の風景の感動をお土産に持ち帰る、あるいは訪れたことのない人々に伝える媒体として、絵葉書は打って付けだったのです。

ひとはくでは、このような戦前の古い絵葉書を収集・保管しています。昔の兵庫県の風景や自然環境を知るための、貴重な資料となっています(図3)。また、絵葉書には、その場所のベストなアングルやタイミングの風景が映し出されているため、当時の人々がどんな風景に魅力を感じていたのかを探ることができます(図4)。

一億総カメラマン時代と呼ばれる現在は、“映える”風景を簡単に撮影・共有できますが、日々大量消費され、すぐに埋もれてしまいがちです。絵葉書は、博物館が存続する限り、色あせることのない風景の感動を、未来に伝えてくれるタイムカプセルなのです。

大平 和弘(環境計画研究グループ)

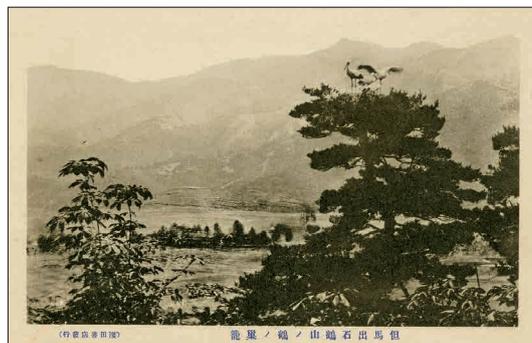


図3 コウノトリの営巣地の風景

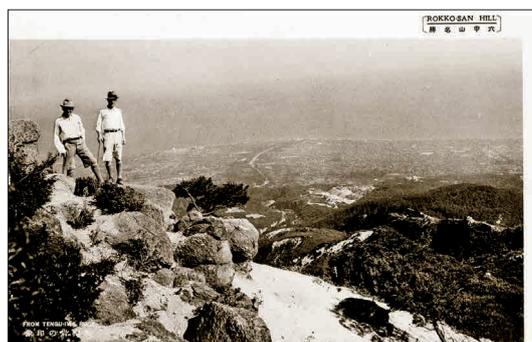


図4 絶景のリゾート地であった六甲山上

